



富士の国やまなし国体
今君は氷上の風になる



氷闘！ かながわ・よこはま冬国体



第73回大会 TEAM FUKUOKA NEWS

福岡県選手団サポートニュース H30.1.29 Vol.1



1/27 アイスホッケー競技会開始式！

いよいよ、第73回国民体育大会の幕が切って落とされた。先陣を切って、アイスホッケー競技会開始式が、新横浜プリンスホテルで開催され、各ブロック予選を勝ち抜いた27都道府県選手団が参加した。スポーツ庁鈴木大地長官は、「フェアプレーの精神に則り、練習の成果を発揮するとともに神奈川県との交流の輪を広げる大会にもして欲しい！」と挨拶。本県が「男女総合成績8位以内」を目指す「第73回国民体育大会」の熱い闘いが始まった。



1/28 「まさに氷上の格闘技！」 アイスホッケー成年男子1回戦、大阪府撃破!!

1回戦の相手は、第71回大会で7位入賞している強豪大阪府。県選手団結団式で代表挨拶を行ったクイン翔士選手（(株)ジャパンメディカルコミュニケーション）は、試合前に「勝ちにいきます」と力強くコメント。

そのコメント通り、試合開始31秒、矢野倫太郎選手（中央大学）が電光石火の先取点を決めた。その後、一進一退の攻防繰り広げられ、苦しい展開の中、第3ピリオドで相手の反則が2つ続き、数的優位な状況となり再び逆転。粘る大阪府も同点とし、延長戦に突入。延長戦（5分間）は、（ゴールキーパーを除く）3対3のサドン・ヴィクトリー方式の試合。福岡県のペースで試合が進んだが、大阪府の攻守に阻まれ、決着がつかず終了。とうとう勝負を決める3名によるゲームウイニングショット（GWS）が開始。ゴールキーパー弥永晃宏選手（福岡市役所）が、大阪府の1人目と3人目を止める。本県は1人目と3人目が決め、熱戦を制した。

試合後、矢野選手は4点を得点したにもかかわらず、10分間の退場を悔やみ、「チームに迷惑をかけてしまった。今日はチームの勝利です。明日こそは自分がチームを勝利に導きます」と力強くコメント。

福岡県アイスホッケー連盟理事長 長澤氏と原田監督は、「守りを重視した練習の成果」と勝因を分析。2回戦の相手は、九州ブロック大会で勝利を収めた沖縄との対戦。とびうめ国体以来28年ぶりの『ベスト8』が見えてきた。



【キーパー弥永選手を中心とした堅いディフェンス】



【勝利の歓喜にわく本県チーム】